

まちだ活動報告 ~つくし野の皆様へ~

~まちだ市民クラブ会派活動報告~
町田市議会議員 [41歳] とつか まさと



戸塚 正人

町田市の待機児童数の現状

町田市では待機児童の解消を目指し、2020年度に南町田グランベリーパーク駅や町田駅周辺を中心に、認可保育所や小規模保育所などを合計5施設整備し、定員を212人増やしました。その結果、2021年4月の待機児童数は76人となり、昨年より54人減少しました。しかし、0~2歳児の待機児童解消には至らず、更なる保育サービスの提供が必要な状況です。

特に待機児童が多い南地区については小規模保育事業所を増やし、子育て世帯の保育ニーズに対応する予定です。

町田市の待機児童人数 (2021年4月現在)

○ 毎年の増減



○ 年齢別 (2020年~2021年) 3~5歳児の待機児童は解消されました



○ 地区別 (2020年~2021年)



< 戸塚正人 (とつかまさと) 略歴 >

昭和66年 4月16日生 (41歳)
 昭和82年 金沢ひまわり幼稚園卒業
 平成 5年 町田市立南第三小学校卒業
 (小学校時代は金沢アームズ所属)
 平成11年 東海大学付属相模高等学校卒業
 (野球部に所属・松坂世代)
 平成15年 東海大学文学部史学科卒業
 (準硬式野球部所属、東海大学軟式野球連盟学生委員長)
 平成16年 株式会社エム・ティー・フード入社
 平成18年 町田市議会議員選挙 初当選
 平成30年 町田市議会議員選挙 4期目当選

【役職】

- ・活動回数2分4秒 副部長
- ・地元ソフトボールチーム「オール南三小」所属
- ・一般社団法人町田青年会連合 第52代理事長
- ・金沢ひまわり幼稚園 理事
- ・社会福祉法人相模会 理事 (こはら保育園・まわりの保育園・みどりの保育園)
- ・町田市ソフトボール連盟 顧問
- ・町田ベンチの会 会員
- ・町田地方史研究会 会員
- ・東海大学同窓会町田支部 副支部長
- ・東海大学付属相模高校同窓会 事務係次長
- ・東京都社協会 理事
- ・U-Aゼンセン東京支部 政治顧問



中学校給食センター整備計画について、センター整備に合わせて給食時間の延長の検討を求め質問しました!!

町田市では、中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、全員給食・給食センター方式の導入に向け取組みを進めています。現在「(仮案)町田市中学校給食センター整備基本計画」を来年3月の策定に向けて準備を進めています。そこで、今回は以前より保護者の方々からの要望も多い「給食時間の延長」の検討及び緊急時・災害時のセンター稼働について質問をしました。

Q、町田市では今後給食センター整備のほか、既存中学校の各階に配膳室やエレベーター整備の費用がかかる。効率的な工事費投資の考え方は。

A、今後学校老朽化に伴うバリアフリー整備工事の一環でエレベーター整備を行う。この工事を併用して配膳室近くに配置するなど、費用の効率化を図る。

Q、給食センター方式の導入を機に、これまで多くの要望のあった「給食時間の延長」を検討してはどうか。

A、今後運用についての検討の機に、なるべく子ども達がゆっくり食事する時間を確保できるように検討していく。

Q、緊急時・災害時の給食センターの役割について、どのような方向性で考えているか。

A、給食用にストックしてある食材を地域に迅速に提供する。そして、専用の食材や炊き出し用備品を備え炊き出しにより温かい食事を提供できるようにする。また、被災状況に応じて、地域の災害拠点に食事を配送できることなどについても考えている。

市民の生活視点で考えよう!!

戸塚正人の議会活動内容と取り組み

小学校・中学校の統廃合計画である
「町田市新たな学校づくり推進計画」
 が策定されました!
つくし野小学校と南つくし野小学校が統合
 される計画があります!

町田市では、市立小学校・中学校において2040年度までに児童生徒数が約30%減少する見込みである状況や、学校施設の老朽化が深刻な状況となる環境変化に対応しながら、より良い教育環境を作るため「町田市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。

町田市教育委員会発行 **まちだの教育** 2021年8月2日号より抜粋

通学区域 [中学校区]	児童数 [2020]	通学区域 [小学校区]	児童数 [2020]	通学区域となる 町区域
33 つくし野	-	22 つくし野町 南つくし野	2090	小川6-7丁目・つくし野1-4丁目 南つくし野1-4丁目
		23 南町	-	南町1-4丁目

※1. 平成30年度末の児童数。つくし野町と南つくし野町は、平成30年度末に合併し、つくし野町となった。

つくし野セントラルパークへの
「新設中学校整備計画」と
「つくし野三丁目の地区街づくりプラン」
 の整合性について質問をしました!

令和3年度9月議会において、「町田市住みよい街づくり条例」について一般質問を行いました。

現在、「町田市住みよい街づくり条例」では、町田市から承認された街づくり団体が市内10か所で指定されています。各街づくり団体は指定地区において、地区住民の多数の承認を得ることで「地区街づくりプラン」を策定することができます。つくし野地区でも「つくし野三丁目街づくり団体」が指定されており、町田市と共に、セントラルパークの緑と景観を重視した地区街づくりプラン「つくし野三丁目地区街づくりプラン」が策定されています。

この様なかで先日町田市より「小学校・中学校統廃合計画」において、つくし野小学校と南つくし野小学校の統合を踏まえて二校の中間地点であるつくし野セントラルパークに新たな小学校を整備する計画が発表されました。

前述の通り、現在つくし野セントラルパークは地区街づくりプランで指定されている区域内であり、地区街づくりプランはつくし野セントラルパークを中心とした街づくりを目指したものです。街づくり団体からすれば、つくし野セントラルパークをなくして学校を整備することは、地区街づくりプランを放棄されたことと同様なことです。



そこで、地区街づくりプランとその他の町田市の事業計画の整合性について質問しました。

Q、地区街づくり団体が策定した地区街づくりプランの位置づけは何か。

A、「町田市住みよい街づくり条例」に基づき策定した地区街づくりプランは、地区の特性に応じたより良い街を実現するため、地区住民の合意を前提に独自の計画やルールをつくり、市に提案し市が策定するものです。

Q、地区街づくりプランと町田市が進める事業計画との整合性について、どの様に考えているのか。

A、地区街づくりプランは市が定める地区ごとの街づくり方針です。地区街づくりプランの区域内で行う事業は、地区街づくりプランを踏まえて進めるものと考えている。

Q、地区街づくりプランと町田市の事業計画のエリアが競合するケースが散見されるが、そういった場合に地区街づくり団体への協議や説明は行わないのか。町田市の事業計画が優先されるのなら、地区街づくり団体と地区街づくりプランの意義はどうなるのか。市民のモチベーションを上げるための条例なのに、逆に市民のモチベーションを下げる行為ではないのか。

A、市の事業計画が地区街づくりプランで定めた内容に対し影響を与えるものであれば地区街づくりプランを提案し運用する地区街づくり団体へ説明を行うべきと考えている。

ご意見を戸塚正人にお聞かせ下さい!!

戸塚正人後援会事務所

〒194-0012 町田市金森2-16-8

TEL : 042-727-1704

FAX : 042-723-9935

E-mail: tmasato@lucky.odn.ne.jp

